



# WEEKLY REPORT

2007-2008 No.29 2008年2月7日

会長◆松井一郎 会長エレクト◆長野芳剛 副会長◆矢部光治  
 幹事◆長野芳剛 SAA◆山本三津子 会計◆横瀬元治 ◇広報委員長：坂井 幸  
 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/  
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~  
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL：046-870-6651  
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX：046-873-0226

本日の進行 (12:30)

梶淵 規彰氏  
 「逗子・葉山の歴史」  
 一次回のお知らせ

2月14日(木) (18:30)

杉野 正氏  
 「企業の再生・戦略・戦闘」

## ◀ 第 2240 回 例会記録 2008年1月31日 ▶

出席報告	会員数 46 名(出席免除 8 名)	出席数 25 名	出席率 65.79%	前回修正出席率 76.32%
ビジター		メイクアップ	3 名 (委員会)	

### ■ 会長談話 松井 一郎 会長

本日は、国際奉仕フォーラムを開催するにあたり、鈴木安之国際奉仕委員長はじめ、発表者の市川会員、安藤会員、湊屋会員ご苦労様でした。新天安 RC との姉妹関係のいきさつや、過去の色々な思い出等を語って頂きました。私も一度、湊屋年度の時に韓国新天安に行ってきましたが、その当時はサッカーのワールドカップ日韓共同開催で、韓国が強豪国を倒し、町中がすごい熱気で大変盛り上がっていました。新天安 RC の会員の方々と楽しく親睦と友情を深めることができました。今は、言葉の弊害やコミュニケーションが取れない、交流の機会が少ないということで、会員の一部からは、そろそろ姉妹関係から友好関係になって、今後お付き合いをしてはどうか・・・との意見もでています。50 周年に向かったの今後の課題となると思います。

1 月は、会長・幹事各団体の賀詞交換会などで、大変忙しく過ごしました。1 月 26 日に行われた、当クラブ

が協賛している中高生ディベート大会に参加してきました。中高生の丁々発止の議論は熱気に包まれ、当日の大会に臨むまでに大変良く勉強をしてきたことを感じました。終われば、ノーサイド。敗者は勝者を讃え、和やかな雰囲気でした。

連日寒い日が続きますが、本日の第 5 例会は、出席率もますますで、会員の熱気から出る体温で会場（海狼）は気温上昇済みです。

「霜に打たれた柿の味、辛苦に耐えた人の味」軒先に吊された渋柿は冬の寒天にさらされ、霜に打たれることで何とも言えない美味に染まる。人も同じである、辛苦に耐えることで、人としての風味を増すのだ。辛苦をなめた事で、人の傷みが分かり、思いやりに溢れた滋味を身につけている人がいます。

2 月は世界理解月間です。財団、米山へ慈愛の心を宜しくお願いします。

### ■ 報告

#### 幹事報告

- \* 米山記念奨学会より米山寄付申告用領収証
- \* 地区大会案内 \* ロスアンゼルス国際大会  
日本人朝食会案内 6/15(日)7:00~9:00
- \* ロータリーの友 2 月号
  - ・特集 世界理解月間：  
世界を知り世界とともに  
ポリオー今まさに行動のとき
  - ・くらぶ探訪 解散の危機を乗り越えて  
新見ロータリークラブ

#### 地区大会開催案内

ホスト：横須賀 RC

場所：よこすか芸術劇場 ベイサイドポケット  
 ホテルトリニティ横須賀

- |             |        |                                 |
|-------------|--------|---------------------------------|
| 4 月 11 日(金) | 10:30~ | 会長・幹事会                          |
|             | 17:30~ | RI 会長代理(金錫和・新天安 RC)<br>ご夫妻歓迎懇親会 |
| 4 月 12 日(土) | 11:00~ | 本会議                             |
|             | 15:00~ | 記念講演 道下俊一氏(浜中 RC)               |
|             | 18:00~ | 大懇親会                            |



**鈴木(安)委員長**：新天安 RC との交流継続については、今までも議論がありましたが、次の締結が 2010 年にやってきます。その調印はどう考えたら良いか。

**市川会員**：29 年前アジア国際大会に 6 会員が出席したが、その大会では姉妹クラブの組合せ推進計画が出された。その時 368 地区の新天安 RC が逗子と姉妹クラブ関係を結びたいと熱烈にプロポーズをしてきた。度々の来日、要請により付き合うことを決めた。当時は韓国から国外に出ることは容易ではなく、我々が招聘状に判をもらうのに公証人役場や韓国総領事館に掛け合い、大変な苦勞をした。当時の韓国は貧富の差が激しく幼稚園の就学率が 5%、道路でオルガンをひいて教えている状態なのに、ロータリーのメンバーは運転手つきの車に乗っているという実情だった。ロータリーとの交流で旅行が容易になるという目的もあったと思う。当時日本語が出来る会員が三分の一居てその人達とは行き来があり、青少年交換学生は 2 名受けたが逗子からは 1 名もない。その会員達がほとんど退会し、現在ではお互いに言葉がわからず、物事が 100%は伝わっていないという状況が続いているのではないか。

**安藤会員**：何回も訪問しましたが、韓国語も英語もお互いに通じないので言葉の壁を乗り越えないと継続は上手くいかないのではないか。



**湊屋会員**：40 周年では 11 名が来逗し、とても喜んでもらった。その後韓国を訪問した

時、会員との交流では接待の気持ちがあっても言葉の壁で会話がなく、酒の呑み合いに終始した。言葉の弊害は考えなければならないと思った。

**鈴木(久)会員**：私が会長の時、姉妹クラブの締結を決めた。経緯は市川会員の説明のとおりである。50 周年を目途に友好クラブにスタイルをかえて、プライベートな付き合いは個々にすれば良いのではないか。よく続いてよかった、と同時に負担も多かったなと思う次第です。

**村田会員**：30 年一区切り、鈴木(久)会員の言うとおりで、お互いに楽になるのではないか。

**横山会員**：先方も若返り継続打ち切りも止むを得ないのではないか。4 大奉仕すべて満点を取ろうと思わず、手を広げずこじんまりと活動するのも良いのではないか。

**山口会員**：10 年前に世代が代わったと感じた。

**松田会員**：入会前に訪問した経験がある。日本に追いつけ追い越せの勢いがある。

**橘(武)会員**：力を入れずに無理に止めずに周年の時位は交流を持ったらどうか。

**赤池会員**：楽しい訪問を経験した。

**臼井会員**：言葉の問題だけなら通訳という手もあるがお金がかかる。ロータリーが外国と付き合うのは良いことなので他の地域のクラブとの交流も考えたらどうか。

**鈴木(安)委員長**：皆さんのご意見から、締結当時の熱は冷めたようで、姉妹関係を続けていくには無理があるようです。来る臼井会長年度ではっきりさせたらどうか。

■ ニコニコ BOX (38,000円)

松井君、矢部(光)君、桐ヶ谷君、菊池君、赤池君、白澤君…国際奉仕フォーラム鈴木安之委員長、よろしくお願ひします。

長野(芳)君…皆様のお酒を持って手を痛めました。

市川君…フォーラムの成功を祈って。

山口君…フォーラムご苦勞さんです。

松田君…久しぶりです。

山本(三)さん…久しぶり松田さん。

篤 君…久しぶりの海狼です。

橘(武)君…安サンお帰り。どうでした子作り旅行は？

桐田君…体調不良です。

三宅君…体調不良ですが、気力ががんばっています。

臼井君…携帯電話の電話帳をパソコンに移し、操作していたら全部消えてしまいました。再チャレンジ

です。

横山君…山口さんお世話になりました。

矢部(房)君…早や 1 月も末となりました。早いですね。

毛利君…早いものでもう一月も終わりですね。

杉本君…正月を迎えたと思ったら、もう月末、節分もあと 3 日、人生はアツク言う間に年をとりますね。

坂井君…今月はあわただしい月でした。

湊屋君、山本(由)君…今日は寒いですね！！

鈴木(久)君…寒さが身にしみます。

安藤君…暑くて気分の良いマニラから帰ってきました。

村田君…もうすぐ春ですね～。

ニコニコ BOX 本日合計 ￥ 38,000

累計 ￥ 1,445,024

ご協力ありがとうございました。

《編集だより》 ▼先週の世界一周船旅紀行の卓話に引き続き今週の国際奉仕フォーラムも、国際派鈴木安之会員の軽妙な司会によりスタートしました。新天安 RC との姉妹再締結についてどうするのか、会員の意見を求めたものでした。締結後 29 年も経過しますと、当時の目的・意義等は薄れ、双方共に状況は変化してしまいました。何の為の姉妹クラブなのかを改めて問い直さなければならないことが浮き彫りとなりました。▼人が為を奉仕として事業をするロータリークラブ、くれぐれも情性で“偽”とならないように、国際奉仕事業に精を込めればと願うフォーラムでした。

クラブ会報編集委員 矢部 房男